

No.20 で作成したような、アクションタグ @CALCTEXT などを使用したフィールドは、セカンダリーユニークフィールドとして、指定することは出来ません。

これは、言い換えると、No.20 の例でいえば、「症例登録番号」の重複チェックができない、という事を意味します。これを解決する方法は、JREC で紹介された方法があります。長崎大学の矢野先生のアイデアです。👉

ざっくり言えば、重複チェックしたいフィールドについて、クオリティチェックルールで、対象の列（フィールド）のユニークな値の数と、列の値の総数を比べます。これが同じであれば、重複はなし、列の値の方が、ユニークな値の総数より、多ければ重複があるという考え方です。

具体的には、以下のようになります。

ここでは、対象のフィールドの変数名を、「text1」とします。

([aggregate-unique:text1]<[aggregate-count:text1]) and ([text1]!=")

注) [text1]!=" の条件（ text1 を空欄以外で保存した時）がないと、うまくメッセージが表示されません。

クオリティチェックの「リアルタイム実行」にチェックをつけておくと、フォームでの入力、保存時にチェックが行われ、エラーメッセージが表示されます。

また、DAG を使用している場合は、DAG 名を「user-dag-name」とすると、以下のように記述することができます。

([aggregate-unique:text1:user-dag-name]<[aggregate-count:text1:user-dag-name]) and ([text1]!=")

【設定法】

左側のメニューから、クオリティチェックを選択します

ルール #	ルール名	ルールのロジック (この場合のみ表示)	リアルタイム実行 ?	クエリ数
A	空白値*			チェック
B	空白値* 必須フィールドのみ			チェック
C	フィールド検証エラー (誤ったデータ)			チェック
D	フィールド検証エラー (範囲外)			チェック
E	数値フィールドの外れ値 (数字、整数、スライダー、計算フィールド)**			チェック
F	値が含まれている隠しフィールド***	-		チェック
G	誤った値の複数選択フィールド	-		チェック
H	計算フィールドの不適切な値	-		チェック
I	「欠損コード」を含むフィールド	-		チェック
	追加 症例登録番号の重複チェック		☐	

新しいルールのわかりやすい名前を入力してください
(例えば、18歳未満の参加者)

新しいルールのロジックを入力してください
(e.g., [age] < 18)
[特別な関数の使い方](#)

データ入力フォーム上でリアルタイムに実行 [?](#)

ロジックエディタが起動されるので、以下のように処理を記述します。

対象のフィールドは、症例登録番号で、変数名は、reg_id です。

下のテキストボックスを使って、ロジック、計算、アクションタグなどを構成してください。スペースが必要な場合は、「Fullscreen Mode」ボタンをクリックすると、テキストボックスが拡大されます。作業が終わったら、「Update」ボタンをクリックして、エディターウィンドウを最小化します。

使用方法を学ぶ [\[?\] スマート変数](#) [√ 特殊な関数](#) [@ アクションタグ](#) or open the [コードブック](#)

```
([aggregate-unique:reg_id] < [aggregate-count:reg_id]) and ([reg_id] != '')
```

✓ 有効 (妥当性の判断は、すべての文脈において100%正確であるとは限りません。)

[フルスクリーンモード](#) [✓ エディタの更新と終了](#) [✗ キャンセル](#)

「データ入力…リアルタイムに実行」にチェックをつけて、追加ボタンで保存します

これにより、フォームに入力後、保存した時点で、クオリティチェックが実行されます

追加	症例登録番号の重複チェック 新しいルールのわかりやすい名前を入力してください (例えば、18歳未満の参加者)	<pre>([aggregate-unique:reg_id] < [aggregate-count:reg_id]) and ([reg_id] != '')</pre> ✓ 有効 (妥当性の判断は、すべての文脈において新しいルールのロジックを入力してください (e.g., [age] < 18) 特別な関数の使い方	☒ データ入力フォーム上でリアルタイムに実行 ?
--------------------	--	---	---

再度編集する場合は、ロジック部分をクリックします。削除する場合は、X をクリックします。

チェックボタンをクリックすると、現在までのデータについて、クオリティチェックが実行され、結果が

表示されます。

	1	症例登録番号の重複チェック	<code>(([aggregate-unique:reg_id] < [aggregate-count:reg_id]) and ([reg_id]!=""))</code> 		チェック	
---	---	---------------	---	---	------	---

フォーム画面から、既に入力されたのと同じ番号を入力し、保存すると、エラーメッセージが表示されます

 **警告: クオリティチェックルールに引っかかりました !**



次のクオリティチェックルールにこのレコードの不一致が見つかりました。
次の表を参照して、違反したルールを確認し、必要に応じて関連するフィールドのデータ値を修正してください。
テーブルの右側にある「除外する」リンクをクリックすると、結果を除外できます。レコードが保存されるたびに、このレコードにルールが表示されることがなくなります。

	ルールに抵触	関連するフィールド	除外 
	ルール #1: 症例登録番号の重複チェック ([aggregate-unique:reg_id] < [aggregate-count:reg_id]) and ([reg_id]!="")	reg_id: ryu-001 aggregate-unique: aggregate-count:	除外する